

令和3年9月24日

芦屋市企画部市民参画・協働推進室  
室長 川口 弥良 様

(あしや市民活動センター指定管理者)  
特定非営利活動法人あしやNPOセンター  
事務局長 橋野 浩美

## ソーシャルナイト～夜の社会貢献勉強会 Vol.2 事業報告書

- 1 実施日：9月17日（金）18：30～20：00
- 2 担当：二宮 毅行
- 3 参加者：54名（オンライン参加、ゲストスピーカー1名を含む）
- 4 講師：川端 輝彦 氏（揚げパン専門店「パイクとそら」店主）
- 5 目的：専門店が手掛けた寄付の取り組みを広く伝える。
- 6 内容：「笑顔のあげパンプロジェクト」の説明  
芦屋のあげパン専門店が、店の購買客から100円の寄付を募り、母子家庭支援施設の子どもたちに届ける。寄付金の範囲で支援すれば、自己負担が無く慈善事業を行うことができ、様々な飲食店、物販店にもすぐにでも取り組める仕組みであることが理解できた。それを全国に広げるための仕掛けに参加者の多くが共感できた。
- 7 アンケート内容（11件の回答を記載）
  - ・とても役立った…11件  
(コメント)
    - ・熱意がひしひしと感じられました。ただ、講演後の意見交換がなかったことと進行役の声が聞こえにくかったのが残念でした。
    - ・思いを形にするパワーを頂きました。
    - ・想いをカタチにすること！小さな行動を先ずは、私からと思いました。絵本講師の一人としてもお役に立ちたい！あげぱん買いに行きます！
    - ・とにかく熱い。情熱と信念があればきっと夢は実現すると思います。貴重なお話ありがとうございました。人に理解してもらうことと、持続的に広がっていくのがポイントになるのでしょうか。
    - ・笑顔の揚げパンプロジェクトへの参加を継続していきます！
    - ・情報の共有をいただき有意義でした。できることをサポートしていきたいです。
    - ・川端さんの寄付をされた施設の方からのメールに心が打たれました。パイクとそらさんには絵本づくりやプライスカード作成のお手伝いでいつもお世話になっていますが、活動や思いを聞いてこれからもお手伝いさせていただきたいと気持ちがあらたになりました。
  - セミナーに関しては、主催の方の声が聞き取りにくかったり、他の参加者さんの

声が聞こえてしまったり、難しいとは思いますが参加者さんからのコメントが活発になったりするとさらに素敵なオンラインイベントになるだろうなと感じました・・・！

- ・今日くらいの参加人数だと交流会部分は全体でやるのではなく、ブレイクアウトセッションにして3~4人くらいのグループで意見交換し、全体に対してフィードバックした方が良かったと思います。また、質問等はチャットで受け、テクニカルチームでまとめて発表者に質問する形がわかりやすいのではと考えました。
- ・子どもが通う保育園から近かったこともあり開店してから頻繁に利用しています。川端さんはいつも笑顔で迎えてくださり、あったかく揚げパンのようにほんわかしたイメージから一変、セミナーで壮大な夢を語る川端さんの情熱に圧倒されました。まっすぐな思いを実現に向けて着実に歩む姿、それを支えるご家族。ますます目が離せません。これからも微力ではありますが私たちができる支援を続けたいです。また、川端さんが支援されている団体職員さんからのメールと、ご友人のオンラインでのメッセージもとても良かったです。

## 8 振り返り

- ・開催当日が荒天予報だったため、オンライン参加のみに変更したが、会場参加の申込者が10名のうち6名欠席となった。83名の申込みに対し、参加者は53名であった。オンライン申込者に対して前日に確認のメールをするなどの対応が必要である。
- ・ゲストスピーカーの川端さん自らが広報活動をしてくれたこともあり、参加者がこれまでで最も多かった。市内の方が取組みを発信するということにも訴求力があつたのではないかと思われる。
- ・参加者がオンラインに慣れてきており、要求が高度になってきている。オンライン参加者からコメントを引き出し方など、アンケート記載のようにブレイクアウトルームなどの機能を取入れていくことの必要性も感じた。



以上

